

都市常任委員会懇談会報告書

1 開催日時

令和6年11月5日（火）午後1時50分～午後3時40分

2 開催場所

八千代市役所4階 第2委員会室

3 出席者

(1) 八千代市管工事協同組合

理事長（代表理事）、副理事長、専務理事、会計理事、理事、監事

(2) 八千代市議会都市常任委員会

委員長 澤田新一 副委員長 辰己百恵

委員 飯川英樹 委員 石山泰之

委員 成田忠志

※伊東幹雄委員，山口勇委員は欠席

4 テーマ

災害時等における行政との連携について

5 開催趣旨

八千代市議会の各委員会が所管する事項に関係する諸団体との懇談の機会を設けることで、多様な意見の聴取及び情報の共有により委員会及び委員の専門性の向上を図るとともに、政策提言及び委員会活動の参考とすることを目的として開催している。また、関係諸団体の方々に懇談会を通じて市議会をより身近に感じていただき、市議会及び市政への関心を高めていただくことも目的の一つとなっている。

今回は、令和6年1月の能登半島地震において現地の上下水道施設に甚大な被害が発生したことを踏まえ、市の水道水の安定的な供給のために御尽力いただいている八千代市管工事協同組合との懇談会を開催した。

6 概要

出席者の自己紹介の後、八千代市議会都市常任委員会から市議会の概要について、八千代市管工事協同組合からテーマに関する活動内容についてそれぞれ説明を行い、意見交換を行った。

管工事協同組合の説明では、令和6年能登半島地震の被災地である石川県羽咋郡志賀町において、八千代市上下水道局職員と共に水道施設の応急復旧活動を行ったことについて、組合として活動することになった経緯、出発までの段取り、被災地の状況、活動内容、動線となる道路整備の重要性、費用、半年後の被災地の状況等をお話いただいた。

続く意見交換では、実際に被災地で応急復旧活動に当たった経験から、八千代市における課題として、「資材、燃料の備蓄が必要。資材等は現地調達となるので、これらが無い場合、被災していない地域から人的支援があったとしても復旧活動ができない」、「市内の浄水場等に備蓄できればよいが、そのためには予算が必要であり、水道事業会計だけでは賄い切れない。一般会計で賄ってほしい」との意見があった。

また、東日本大震災の教訓として、「連絡手段、移動手段の確保が重要。携帯電話はつながりにくく、無線機もなかったため、現地の状況を伝達するために上下水道局に出向かなければならなかった」、「道路は渋滞や通行止めとなっていたため、バイクや自転車が有用である」、「ガソリン等の燃料が不足していた」との意見があった。

さらに、これまで上下水道局と連携してきた経験から、「災害、事故発生時にいて迅速かつ的確に対応するためには、上下水道局職員の人員増や習熟度の向上が必要である」との意見や、上下水道局発注工事に関することとして、「配水管布設工事等について、事業者の工事技術の維持・向上の観点から、市内の各事業者が満遍なく受注できるような発注としてほしい」、「工事関係書類（竣工書類等）を簡素化してほしい」との意見があった。

そのほか、応急復旧活動に係る費用負担、事業者としての人材確保（外国人、若年者等）、家庭の水のトラブル、水道料金、企業誘致、住工混在の問題等、多岐にわたる事柄について意見交換を行った。

7 懇談会を終えて

今回の懇談会は、資材、燃料の備蓄（災害時でも随時確保できる体制の構築を含む。）の必要性、災害時における連絡・移動手段の確保の重要性、上下水道局の体制整備（人員増、習熟度向上）の必要性等、専門的な知識や経験に基づく様々な御意見を伺うことができ、大変有意義なものとなった。頂いた御意見については、今後の委員会活動や議員活動に生かしていきたいと考えている。

